

問一	a	うるわ	しい	b	みやび	c	ひっし	d	めど	e	いっしゅう
問二	童宮城										
問三	でも、 あなたの記事にあるような一件落着けではなくて、私は少し寂しかったんですよ。ガメラがいてくれたお陰で、子どもたちは楽しそうだったし、何よりも亮くんが友達ができるきっかけだったから。										
問四	「間違い」とは、ガメラと亮くん子どもたちを巡る長崎さんの大切な思い出を、安易な発想に基づくドタバタ劇にすり替えて、美談に仕立ててしまった点。 「悔恨の涙」を流させたのは、長崎さんが亡くなり、亮くんの居場所も分からない今では、自己満足的な記事を書いてしまったことに対する弁明も謝罪もできなくなってしまったという悔しさのため。										
問五	インタビューの時点では、「あの子」とは亀のことだと思いついていたが、取材テープを聞くことで長崎さんの真意が分かった今では、長崎さんの言った「あの子」とは亮くんのことだったのだと気づかされた主人公の、過去と現在とを対照的に表現できる一文を結びの表現とすることで、長崎さんの思いをかみしめる主人公の気持ちを、読者も追体験できる効果がある。										
問六	先輩の助言は、プロとして効率的に仕事をこなす上で大事なテクニックであるとともに、取材中は相手の話を傾聴せよというアドバイスであった。しかし、私は主観に囚われ、対話から得るべき話の核を取り逃がしてしまっただ。人間と対話し、記事という形で伝える職にある以上、取材相手の思いと真摯に向き合う姿勢を失ってはならない。(153字)										

問一	a	培	われる	b	推奨		c	虚構		d	駆使		e	惑星
問二	<p>共感力とは、他者の能力や気持ちを理解し、みんなと共に行動しようとする考えに至る力である。その能力は、他者と身体的に関わることで心身の同調・共鳴を図り、言葉を交わして自他の違いを認識するなどの多様な経験を積むことで「育まれるものだから。」</p>													
問三	<p>イ</p>													
問四	A	<p>ウ B 本来、共感力とは他者を思いやり、利他的行動に向かわせる能力であるのに、その能力があることで、かえって、共感できない他者を陥れるという皮肉な結果を生んでしまう、ということ。</p>												
問五	<p>生きる上で利便性を優先するあまりに「Deed」のような生成AIに「考える」ことや「物語」ることを委ねてしまうと、人間がこれまで培ってきた考える力や物語を作る力が減退してしまい、新しい創造の生じない過去の出来事を反復再生する世界となる。さらに、言語化の困難な感情面の切り捨てによる人間の機械化が進行し、合理的判断を優先させるあまり人間そのものの排除に向かう不毛な世界が形成される。</p>													
問六	<p>他者の身体への同調や、他者の心情に共鳴する経験を積み重ねることで深まっていく「共感」という能力は、他者認識を深めることにも、集団での協調行動を促すことにもつながる。人間が歴史的に社会を形成し、そこに多様な文化を育む原動力であった。身体的存在である人間の持つ生物的な感性を介して常に生成変化を繰り返す「感情」があるからこそ、人間は人間的に判断・行動できるのであり、さらにその「感情」に動かされるからこそ、人間は新たな世界を創造しようとする生き方が選べるのである。つまり、「感情」の役割とは、「人間らしい生き方」を支えるものなのだ。(266字)</p>													

三

問一	① ラ行変格活用動詞「あり」の連体形 / ④ 連体詞「ある」				
問二	ウ				
問三	イ				
問四	A エ	B ア			
問五	I 笹	II 節	III 縁語		
問六	露之介という男性は、出会った当初から心の中では心ひかれる人物であり、「このような人と結ばれることこそつらい身の上の慰めとなるだろう」と思っていたが、「あまりにもすぐに相手の誘いに乗ってしまうと愛情の薄い女だと思われてしまうのではないか」と危惧し、あえてつれない態度をとってしばらくは露之介の気持ちを探ろうという思い。				

四

問一	多・歌・波・訛・過		
問二	① いまたあやまたず	② まきのこいとおりを (別解：りを) けつすべし	
問三	思任天然	心従造化	
問四	後世に名を残している詩人は多くいるものの、詠唱する言葉の響きにおいて <b>自居易</b> (別解：白樂天)の詩に勝るものはなく、その詩作の姿勢も漢詩人としての理想の境地にあり、世の中の価値観がどのように変化しようとも、漢詩の王道だと言えよう。そのような理想の人物がしばしば夢の中を訪れるというのであれば、あなたがこそが白居易の詩作の極意を受け継ぐ人物に他ならないと、友人高階を称賛する思い。		